



雨水貯留浸透製品

NEW

RAIN望 スタジアム™

クボタシーアイ株式会社

シンプルな部材構成で
施工性 UP!!

パレットレスで
環境負荷低減!!

「槽の奥」まで清掃できる
優れた維持管理性!!

暮らしを支える見えない力
クボタシーアイ
ホームページ
<http://www.kubota-ci.co.jp>

クボタシーアイ 検索

リニューアル完了

様々なお役立ち情報を
配信しています!

製品情報	TOPIX	電子カタログ閲覧
トピックス	ダウンロード (承認図・CAD)	QSA
!	!	PAL 季刊誌「PAL」

ホームページ会員募集中! CAD図や技術資料が
ダウンロード可能に

都市の雨水流出抑制に「RAIN 望スタジアム」

槽内部がトンネル構造を有し、優れた維持管理性を追求！
 シンプルな部材構成により、施工性の更なる向上！
 パレットレスによるトラック輸送ができるので、
 環境負荷の低減にも貢献！

大規模

ショッピングセンター
 公園・運動場など

小規模

戸建て住宅など

トレンチ (溝) 工法

構造図

施工の更なる向上！

- 『カンタン』に組み立て作業が行なえるよう、
 ①主に、「①本体」「②側板」「③天板」の部材構成で、
 シンプルになっております。
 ②本体には持ち手があり、側板はワンタッチで本体
 に取り付けることができます。
 ③本体保管にはパレットを使用しないため、パレ
 ットの後片付けが必要ありません。



組立て作業



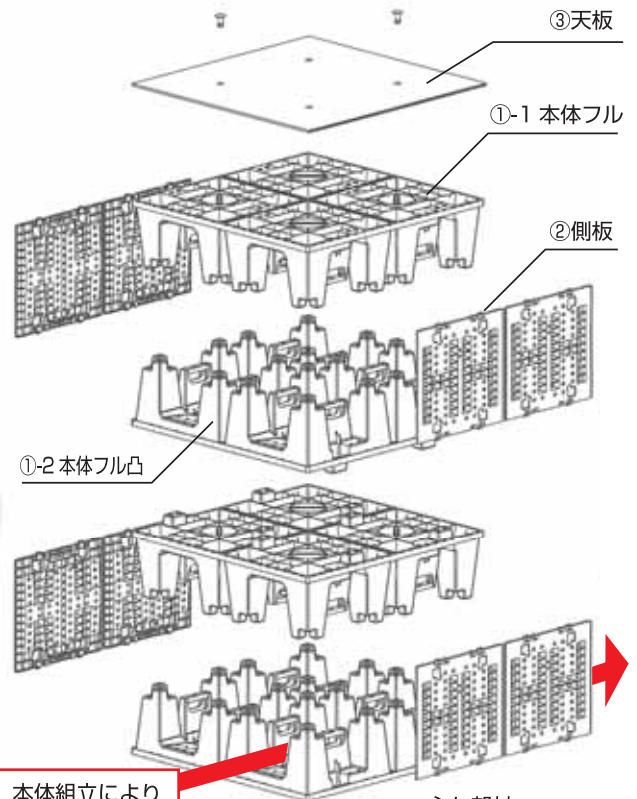
側板の取り付け作業



運搬作業



荷積み状況



本体組立により
 【トンネル構造】
 が形成される。

主な部材
 ①-1 本体フル ①-2 本体フル凸
 ②側板 ③天板

環境負荷の低減にも貢献！

本体は、パレットを使用せずにトラック輸送ができるため、

①パレットの産業廃棄物処理が不要で、環境負荷の低減に繋がります。

②トラックにより、パレットを撤収する必要がありません。

また、使用材料は、RoHS 基準を満足し、有害物質が含まれていないことを確認しています。

※RoHS 基準とは、EU（欧州連合）域内においてコンピューター、通信機器、家電等の電気・電子機器について有害な化学物質の使用を禁止する基準を言う。



トラックへの荷積み状況



運搬時のパレット不要

《参考(試算例)》

トラックのパレット撤収による CO₂ 排出削減量

貯留浸透槽の容積 : 10 万(m³)
パレットの撤収輸送距離 : 300(km)と想定

★撤収するパレット重量 : 555.5(トン)
雨水貯留槽の容積 : 45 m³=4 トントラック 1(台)相当
4 トントラック積載枚数 : 10(枚)
1 枚のパレット重量 : 25(kg)

★トラック(営業用貨物車)輸送量当たりの CO₂ 排出量(平成 17 年度)
153(g-CO₂/トン・キロ)

※出典 : 平成 19 年度 国土交通白書(図表 I-2-1-29)



約 25.5 トンの CO₂ 排出削減

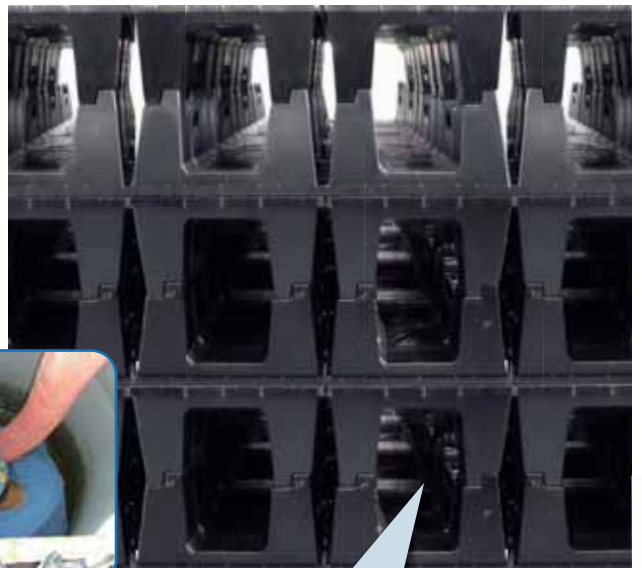
優れた維持管理の追求！

槽内部が連続したトンネル構造であるため、管理ます(点検人孔)から、

①自走式カメラにより、“槽の奥”まで点検することができます。

②バキュームホースにより、“槽の奥”まで砂、落ち葉などを除去することができます。

③集砂溝を本体に取り付け、“槽の奥”まで高圧洗浄ホースで洗浄することもできます。



モニターによる確認



砂の除去作業



1 自走式カメラによる点検



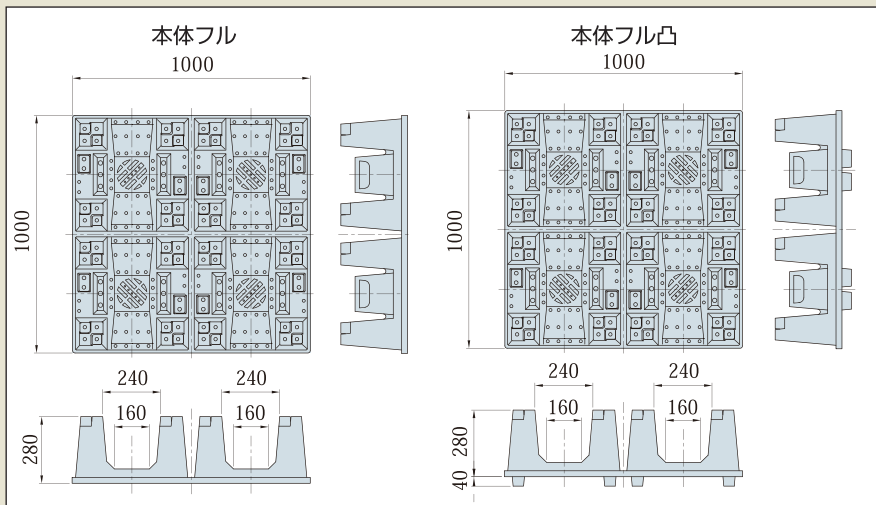
2 バキュームホースによる砂の除去



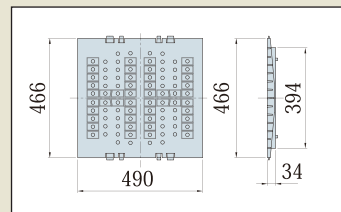
3 砂の除去完了

仕様

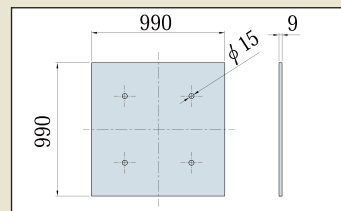
本体



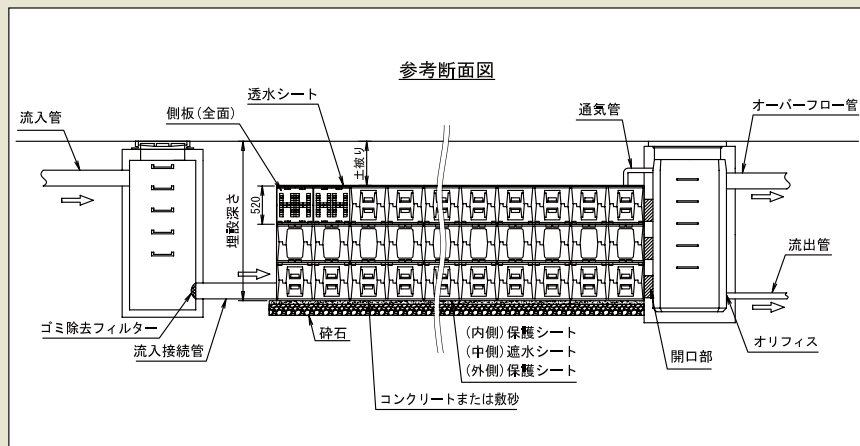
側板



天板



参考断面図



建設技術審査証明書



※財団法人下水道新技術推進機構

適用範囲

●耐荷重：T-25 以下 ●許容埋設深さ：6m（れき質土）／4m（砂質土） ●空隙率：95%以上（本体部）

注意事項

お守りください。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。



製品は適用範囲があります。設置位置、土被りなどは設計図を厳守してください。



埋戻しは、シートの破損や本体の崩れを防ぐため慎重に行ってください。



施工中において表面に凸凹面がでます。製品の上を移動するときは、足元に十分注意してください。



流入異物によっては、貯留浸透機能を低下させるので、状況に応じて清掃作業を行ってください。

※その他詳細についてはスタジアム技術資料または、維持管理マニュアルをご参照ください。

クボタシーアイ株式会社

※当パンフレットに記載の内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。また許容差のない数値は参考値とします。※製品写真の色は印刷のため、実際とは若干異なります。

本社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 ☎(06)6648-2375 (ダイヤルイン) 中国支店 〒730-0036 広島市中区袋町4番25号 ☎(082)546-0490 (ダイヤルイン)
 東京本社 〒111-0041 東京都台東区元浅草2丁目6番7号 ☎(03)5246-7800 (ダイヤルイン) 四国支店 〒760-0050 高松市亀井町2番地1 ☎(087)836-3908 (ダイヤルイン)
 北海道支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3丁目1番44 ☎(011)214-6291 (ダイヤルイン) 九州支店 〒812-8691 福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号 ☎(092)473-2453 (ダイヤルイン)
 東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目6番1号 ☎(022)267-8955 (ダイヤルイン) 沖縄営業所 〒900-0015 那覇市久茂地2丁目9番7号 ☎(098)868-1110 (ダイヤルイン)
 中部支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号 ☎(052)564-5145 (ダイヤルイン)

■詳しくは……………
ホームページ 製品情報 / トピックス / 電子カタログ閲覧 / 資料ダウンロード / Q&A / 季刊誌「PAL」



<http://www.kubota-ci.co.jp>

No. C 3 1 - 0 2 (08.7.10) 10.6.10.S0.SK